

『名古屋の里山とため池の自然』展 2010

「白い河」名古屋に残された緑の息々のことを知っていますか？
守山区から緑区にかけて南北に連なる「名古屋東部丘陵」の里山です。
そこでは森とため池とが複合して、驚くほど多様な動植物たちが棲んでいます。
そうした生き物たちの様子を生きた実物とパネルで展示します。

本来ため池は農業用水利施設ですが、同時に多様な生き物の宝庫であり、絶滅危惧種のシェルター（隠れ家）でもあります。大都市名古屋には奇跡的に111ものため池が残っています。また、その機能は、周辺の里山と一体化することによって高まり、より豊かな生態系を形成します。

一昨年からは、市内10箇所のため池で、総合的な生き物調査や外来種の駆除を目的とした「池干し」を市民参加で進めてきました。

私たちはこの活動の中で、海からはるばる上ってくる生き物や、外来のカメに混じって、たくましく生き抜いている在来のカメやメダカなど、たくさんの生き物に出会いました。また、いたるところで外来種の侵入の実態を目撃するとともに、これらの除去によって在来種が復活する姿も目にすることができました。

今回の展示をとおして、ため池の魅力とともに、“今なら間に合う！大都市名古屋の里山とため池の復元”を皆さんと共感し、考えたいと思います。

日 時：2010年8月4日(水)～8月15日(日)（月曜日休館）

午前9:30～午後4:30

場 所：名城公園フラワープラザ・アトリウム

『名古屋の里山とため池の自然』展 2010 展示内容

- 「里山と私たちの暮らし」「なごやの森づくりガイド」パネル展示
- 「名古屋ため池生き物いきいき計画事業」パネル展示
- 「なごやのため池ガイド」パネル展示
- ため池の植物(実物と標本)展示
- ため池の昆虫(実物と標本)展示
- ため池のカメ・魚・爬虫類・両生類・哺乳類・鳥類(実物と標本)展示
- 名古屋ため池池干しと生き物調査のビデオ上映
- 里山とため池の保全・再生に取り組む団体の活動紹介・・・などを予定



主催：名古屋ため池生物多様性保全協議会

協力：ため池の自然研究会・日本カメ自然誌研究会・なごやの森づくりパートナーシップ連絡会・名古屋昆虫同好会・三河淡水生物ネットワーク・生物多様性条約市民ネットワーク生命流域作業部会・なごや東山の森づくりの会・日本野鳥の会愛知県支部・名古屋コミュニケーションアート専門学校